

「PICU への転院搬送において搬送後に気管チューブの入れ替えが必要であった症例の検討」

1. 研究の対象

2016 年 1 月 1 日～2024 年 8 月 31 日の期間に他院から当院 PICU へ気管挿管下に転院搬送となった方

2. 研究目的・方法

小児例における人工呼吸管理は PICU をはじめとした専門医療施設で行うことが一般的となっており、二次医療施設等で重症化した小児に対して気管挿管を行った後に転院搬送するという事例は多々ある。一方、小児への気管挿管を頻繁に行っていない一般小児内科医が、気管チューブの選択を含めた気道管理戦略に頭を悩ませる局面も少なくないと考えられる。2016 年 1 月 1 日～2024 年 8 月 31 日の期間に他院から当院 PICU へ気管挿管下に転院搬送となった症例のうち、当院で気管チューブの入れ替えを行った症例を検討する。適切な気管チューブの選択を行うことで、気管チューブの入れ替え症例を減らし、気管挿管下に転院搬送となる重症小児症例の予後改善につながれると考える。

研究期間：承認日～2025 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録を用いた後方視的調査である。

気管チューブの入れ替えを要した患者群の年齢、体格、気管チューブサイズ・カフ有無等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県仙台市青葉区落合四丁目 3 番 17 号 TEL：022-391-5111

研究責任者：宮城県立こども病院集中治療科・荒川 貴弘